

2009年2月21日(土)、(社)日本外国特派員協会において、第25回トリアスIRフォーラムを開催いたしました。基調講演に、株式会社 エフ・エリオット 代表取締役 藤原尚之氏をお迎えし、「2009年前半の株式投資戦略について」と題し、ご講演いただきました。会社説明には、亀田製菓株式会社(以下、亀田製菓)にご参加いただき、会社概要、事業戦略、今後の展望等について、ご説明いただきました。

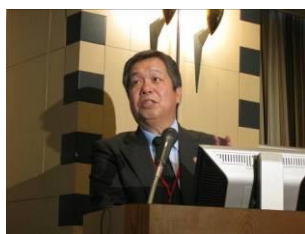
基調講演では、日本株は歴史的安値圏にあるとの見方に立ち、多岐にわたる客観データを検証する形で、株式市場の見通しについて、ご説明いただきました。藤原氏の検証によれば、史上初のG20による大規模な景気・金融対策の同時実施により、米国経済は今年4-6月期に底打ち、日本経済についても夏には底打ちするのではないかとのことでした。また市場は、各国による財政・金融対策の効果を悲観しすぎているとのご意見でした。

※ 基調講演、ならびに質疑応答の詳細は、Trias Blog (<http://122.212.232.242/wordpress/>) に掲載しております【Trias マクロ・ストラテジーメモ09-02-27】、ならびに【質疑応答サマリ】をご参照ください。



基調講演に立たれる  
藤原尚之氏(上)

会社説明をされる  
亀田製菓株式会社  
取締役社長 田中通泰氏(下)



亀田製菓  
展示ブース  
(左&下)



会社説明セッションでは、亀田製菓の田中社長より、事故米騒動や原材料高騰の影響で、厳しい事業環境にあった今上期の概要や国内米菓業界の現状について、ご説明いただきました。国内米菓メーカートップとしての「安全・安心」への取組みや米国・中国で展開中の柿の種グローバル化への取組み、そして中長期的には、「和」の世界観のもと、健康や幸福感をお客様にお届けできる企業になるため、新たな素材・商品開発への取組みの方向性が説明されました。展示ブースには、同社こだわりの新商品のほか、数多くの商品が紹介され、地道なファン作りの現場となりました。

※ 亀田製菓による会社説明、ならびに質疑応答の詳細は、Trias Blog (<http://122.212.232.242/wordpress/>) に掲載しております【Trias 企業メモ 亀田製菓株式会社(2220 東証2部)】、ならびに【質疑応答サマリ】をご参照ください。

#### 第25回トリアスIRフォーラム後記:

今年2回目のIRフォーラムでしたが、今年に入って驚いているのが、ご参加くださる投資家の皆様、例年以上に投資戦略に熱心でいらっしゃる事です。第24回に引き続き、ご参加人数が増えていることでもあります。質疑応答セッションが活発であること、そこで展開される議論の内容が濃いことに驚きます。この変化は、投資家の皆様の中長期投資のスタンスを一層強く持たれ、歴史的に安値にある日本株への投資を真剣に考えていらっしゃる現われなのだと思います。また、日本株だけでなく、グローバルにも運用の幅を拡げておられる様子で、しっかり勉強し、自らのリスクで投資を実践されている投資家の皆様を頼もしく感じた次第です。

このメモは投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。このメモに記載されている内容は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性・完全性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容・意見はフォーラム開催時における判断であり、今後、事前の連絡なしに変更されることもあります。投資に際しての最終決定は投資家の皆さまご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。

本メモの著作権は、株式会社トリアスに帰属します。当メモの文章の全部または一部、画像や図表その他のデータなどを無断で転載、複製してご利用になられないようご注意ください。社内等でご利用になる場合なども株式会社トリアスまでご連絡いただきますようお願い申し上げます。